



令和元年度 中学生海外派遣交流事業 報告書

■期 間 2020年1月4日(土)~1月16日(木)
■派遣先 アメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市
CSAS校 -Chattanooga School
for the Arts & Sciences-

We love
Chattanooga ♡

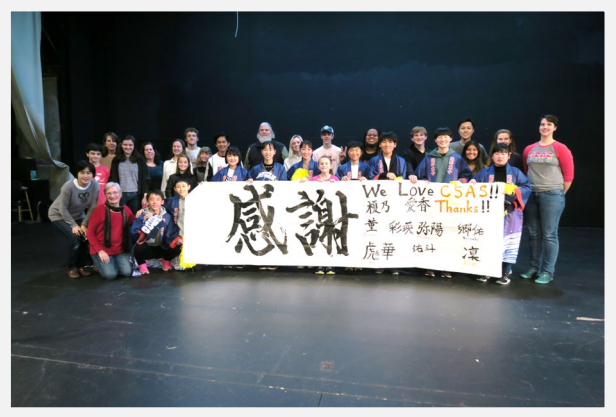
アトランタ空港着



ホストファミリーとの対面



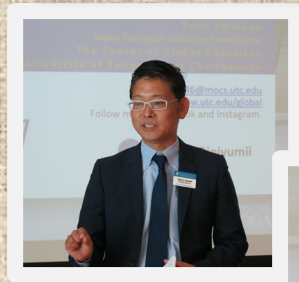
CSAS校



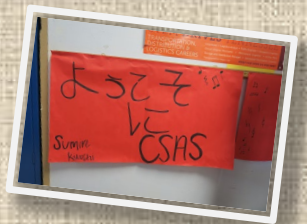
チャタヌーガ市役所



テネシー大学チャタヌーガ校



たくさんの思い出



派遣生・引率者名簿

派遣生

番号	氏名	性別	学校	研修テーマ	ホストファミリー
1	たかはし かの 高橋 榎乃	女	遠野	アメリカ人は、現代の日本について どれだけ知っているのか	Evatt Family
2	ただ ひゆうが 多田 彪華	男	遠野	チャタヌーガの人とテレビの関係	Striebel Family
3	ひたち ゆうと 常陸 佑斗	男	遠野	チャタヌーガの人たちの 暮らしについて	Douglas Family
4	きくち すみれ 菊池 堇	女	遠野	アメリカの食	Tripp Family
5	きくち みはる 菊池 弥陽	男	遠野	チャタヌーガの人気のスポーツ	Derthick Family
6	こだま さえ 小玉 彩瑛	女	遠野	チャタヌーガの祭りや イベントについて	Burer Family
7	まつだ きょうすけ 松田 郷佑	男	遠野	遠野のことをチャタヌーガの人達は どれくらい知っているのか	Staszewski Family
8	きくち まなか 菊池 愛香	女	遠野東	アメリカ人の好きな映画について	Hill Family
9	さとう りん 佐藤 凜	女	遠野西	魅力的な街 チャタヌーガ市とは	Jordan Family

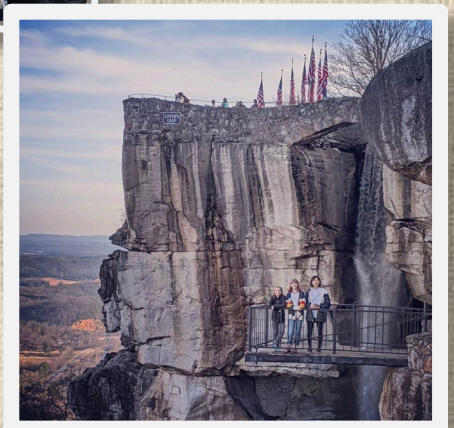
引率者

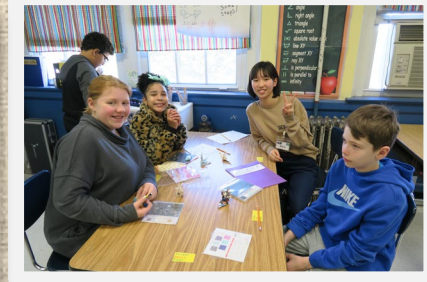
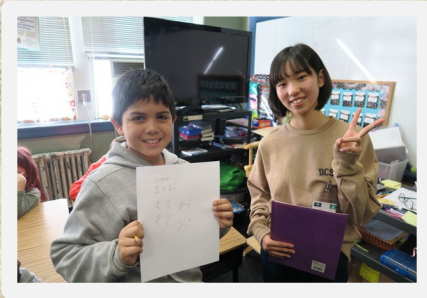
番号	氏名	性別	備考	ホストファミリー
1	うすざわ のりこ 白沢 紀子	女	遠野東中学校教諭	Lazenby Family
2	いこう まなぶ 伊香 学	男	(一財)遠野市教育文化振興財団事務局主任	Mesich Family

日程表

行程			内容	
1	1/4 (土)	遠野発 新花巻駅発 東京駅着 東京駅発 JR成田空港着 成田空港発	9:00 10:19 13:24 14:03 14:57 17:50	保護者や関係者の皆さんに見送られ遠野を出発。 天気は快晴! 新幹線、成田エアポートエクスプレスと乗り継ぎ、成田空港へ。デルタ航空296便は、期待に胸を膨らませた派遣生を乗せ、アトランタ空港へ向けて飛び立ちました。
	日付変更線	アトランタ着 チャタヌーガ着	16:20 19:30	約12時間のフライト後、無事にアトランタ空港に到着。 その後、専用バスにて約2時間でチャタヌーガ市内へ移動。 CSAS校に到着すると、ホストファミリーから大歓迎を受けました。派遣生はそれぞれのホスト宅に向かい、いよいよチャタヌーガでの生活がスタートしました。
2	1/5 (日)	チャタヌーガ	終日	～ホストファミリー・デイ～ それぞれの家庭で休日を過ごしました。
3	1/6 (月)	チャタヌーガ	終日	～登校1日目～ ジム・ボールズ校長先生に挨拶。 主に幼稚園から小学生の学年のクラスを訪問し、折り紙、筆ペン、英会話による交流を行いました。20分程度の間隔で多くのクラスを訪問する忙しいスケジュールでしたが、派遣生は時差ぼけにも負けずに交流を楽しみました。
4	1/7 (火)	チャタヌーガ	終日	～登校2日目～ ルイーザ・メシッチ先生の案内で校内見学。 「千と千尋の神隠し」を鑑賞する授業では、CSAS校の生徒も日本のアニメにとっても興味を持っていました。 この日は、主に中学生の学年のクラスを訪問し、交流を行いました。同世代の生徒との交流は良い刺激になりました。
5	1/8 (水)	チャタヌーガ	終日	～市役所訪問 & テネシー大学チャタヌーガ校(UTC)見学～ アンディー・バーク市長を表敬訪問。その後、UTCでのプログラムを受講しました。同校国際教育室の鈴木丈夫室長と島田優美さんがガイドをしてくださいました。

6	1/9 (木)	チャタヌーガ	終日	<p>～登校3日目～ 主に高校生の学年のクラスを訪問し、交流を行いました。合唱のクラスでは一緒に歌を歌ったり、日本の童謡を披露したり教えたりしました。美術の授業では魚拓制作を行ったり、eLab (イーラボ) と呼ばれる実習室では、オリジナルステッカーやT-シャツ作りを行ったりと、創作的な1日となりました。また、体育の授業では久しぶりに思いっきり体を動かすことができました。</p>
7	1/10 (金)	チャタヌーガ	終日	<p>～登校4日目～ この日も主に高校生の学年のクラスを訪問しました。また、全校集会では、幼稚園から高校生までの1,000人以上の生徒の前で、感謝のプレゼンテーションとして、Newソーランのダンスを披露し、会場は大いに盛り上がりました。</p>
8	1/11 (土)	チャタヌーガ	終日	<p>～ホストファミリー・デイ～ それぞれの家庭で休日を過ごしました。悪天候の影響で、この日、全ホストファミリーが集合して開催する予定だったポットラック(持ち寄り)パーティーは翌日に延期となりました。</p>
9	1/12 (日)	チャタヌーガ	終日	<p>～ホストファミリー・デイ～ 長年遠野の派遣生を受け入れてくださっている、マーク・カッパーマンさんのお宅で、ポットラックパーティーが開かれました。派遣生とホストスチューデントは兄弟姉妹のように仲良くなっていました。</p>
10	1/13 (月)	チャタヌーガ	終日	<p>～登校5日目(最終日)～ 主に高校生の学年のクラスを訪問し交流しました。eLabでは、完成したT-シャツが派遣生一人ひとりに記念品としてプレゼントされました。派遣生からは1日を通して「もう研修が終わっちゃう～」「もっとチャタヌーガにいたい～」という声が出ました。</p>
11	1/14 (火)	チャタヌーガ 発 アトランタ発	6:00 10:40	<p>早朝、CSAS校に集合。雨予報でしたが、この時間帯だけは運よく雨が降らず、最後に集合写真を撮ることができました。ホストファミリーとお別れのハグ。そして派遣生達の目には涙。</p>
12	1/15 (水)	成田空港着 ホテル着	14:50 15:50	<p>約14時間のフライトの後、無事に成田空港へ到着。久しぶりの日本は寒い!空港近くのホテルに一泊しました。</p>
13	1/16 (木)	ホテル発 東京駅発 新花巻駅発 遠野着	8:00 10:36 13:50 14:30	<p>あえりあ遠野前で多くの方にお出迎えをいただきながら、無事に遠野に到着しました。</p>





Chattanooga
CSAS

「アメリカ人は、現代の日本について どれだけ知っているのか」

1 テーマ設定の理由

- ・日本の文化の知名度について興味があった。
- ・日本にも存在する流行には、国境を越えても違いがあるのか気になった。
- ・アメリカの学生は、日本についてどう考えているか知りたかった。
- ・普段、暇な時はどのように過ごしているか聞いてみたかった。

中には、行ってみたい、行ったら素晴らしい経験になると思うと答える人もいました。

(4) 現代の日本について知っていること

1位 ゲーム 31人中/3人

2位 アニメ
食べ物

技術 31人中/2人

※31人中15人が知らないと回答していた。

2 内容と結果

(1) 暇な時に何をしているか

1位 スポーツ 50人中/14人

2位 ゲーム 50人中/11人

3位 テレビ 50人中/5人

(2) アメリカで人気のもの

1位 スポーツ 31人中/9人

2位 ゲーム 31人中/8人

3位 iPhone

ファストフード 31人中/3人

(3) 日本についてどう考えるか

美しい、カッコいい、素晴らしい文化があるなどと多くの人が答えていました。

3 まとめ

予想通り、暇な時にスポーツをしている人と、ゲームをしている人が多かった。また、暇な時にしているものが人気だと分かった。

アメリカ人は、日本のことをどう思っているのか全く予想がつかなかったが、調査をしてみてこんな風に思っているんだなと、とても嬉しくなりました。また、小さい子は日本がとても大きい国だと思っていることが分かった。そして、日本がとても小さな島国だということを教えると、とても驚いていたのが印象的だった。

現代の日本について知らないアメリカの学生がほとんどということがわかりました。将来、アメリカで日本のことを発信するのが夢なので、この経験を活かしたいと思った。

研修全体を通して感じたことや学んだこと 「素晴らしい経験は、一生の宝物!!」

遠野中学校 2年 高橋 楓乃

私は、海外に行くのが初めてで、最初は楽しさだけでなく、不安もありました。今までの事前研修で、英語の学習やプレゼンテーションの練習など、みんなで頑張ってきました。

待ちに待った1月4日。私たちは日本を飛び立ち、チャタヌーガへと向かいました。長いフライトでとても大変だったし疲れましたが、CSAS校でホストファミリーが大歓迎で私たちを迎えてくれました。CSAS校についてすぐにホストファミリーとの生活が始まり、正直何を言っているのかと最初はついていけず、困ったりもしました。

チャタヌーガに着いて2日目、テネシー水族館やモールに行きました。その水族館は世界で4番目に大きな水族館で、見たことのない生き物がいたりとても迫力がありました。

3日目からは、いよいよCSAS校での学校生活が始まり様々な年代の生徒と交流しました。折り紙を教えたり、名前を日本語で書いてあげたりいろいろなことをしました。たくさんの生徒と日本の文化で交流できたので嬉しかったし、日本について興味を持ってもらえたのでよかったです。

5日目には、チャタヌーガ市役所に行き、アンディー・パーク市長と面会したり、UTCへ行き、講演を聞いたりしました。

6日目、7日目は学校へ行き、7日目は、全校生徒の前でプレゼンテーションの発表をしました。9人で今まで練習してきたソーランを披露し、とても盛り上がりました。みんなが私たちの発表を見て喜んでくれていたので、とても嬉しかったです。

7日目の学校が終わった後、私はホストスチューデントの友達の誕生日パーティーに招かれ、1泊友達の家泊まりました。日本の映画を一緒に見たり、モールに行ったり、とても楽しい時間でした。

8日目は、ホストファミリーとロックシティに行きました。夜には、ポットラックパーティを他のホストファミリーと集まって交流しました。

9日目は、学校が終わったあと、チャタヌーガチューチューでスケートをしました。

10日目は、朝早くにCSAS校へ向かい早くもホストファミリーとお別れしました。とても楽しい10日間を過ごせて私は、チャタヌーガを離れたくなかったし、とても寂しかったです。

今回の派遣は、最初は不安もあつたけれど、ホストファミリーや友達にも恵まれ、すごく楽しくていい経験になりました。この経験を生かし、将来につなげていきたいです。

ホストファミリーの皆さん、CSAS校の皆さん、伊香さん、白沢先生、そしてこの派遣に関わった方々、本当にお世話になりました。感謝しかありません。本当にありがとうございました。

Thank you so much!!

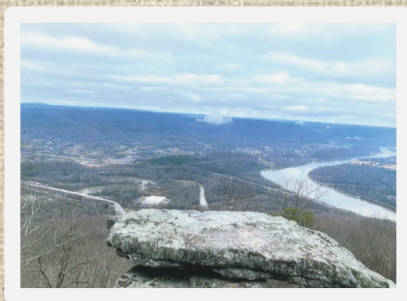
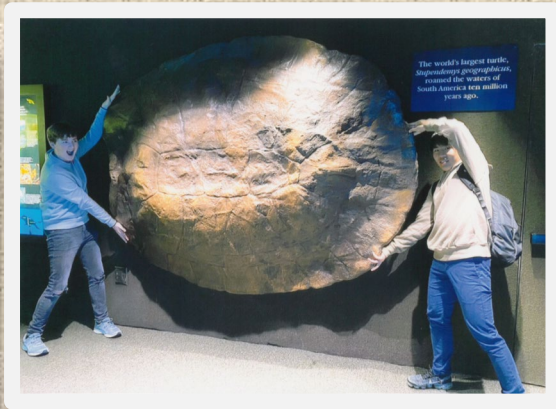
I' ll be back at CSAS again!!

チャタヌーガの紹介

『ロックシティ』

山の頂上から、アメリカのとても綺麗な景色を見ることができます。







Chattanooga CSAS

1 テーマ設定の理由

私はアメリカの人はだいたいの人が日本のアニメやテレビに興味を持っているという印象を持っていました。

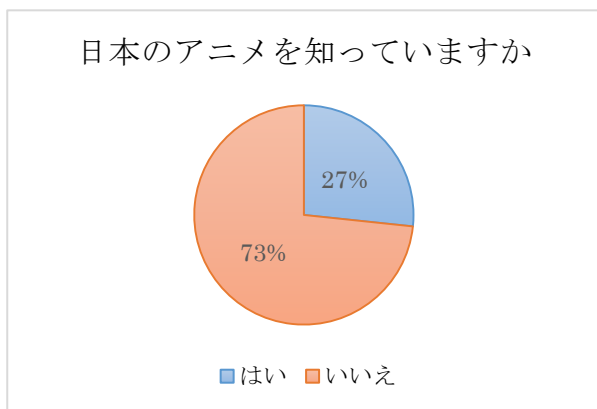
でも、それは印象でしかなかったので本当にアメリカの人はそう思っているのかたしかめようと思いました。

2 内容と結果

(1) 日本のアニメの認知度について

日本のアニメを知っている人が4人で知らない人が11人でした。(アンケートを取った人は合計で15人でした)

思っていたよりも知っている人が少なかったです。



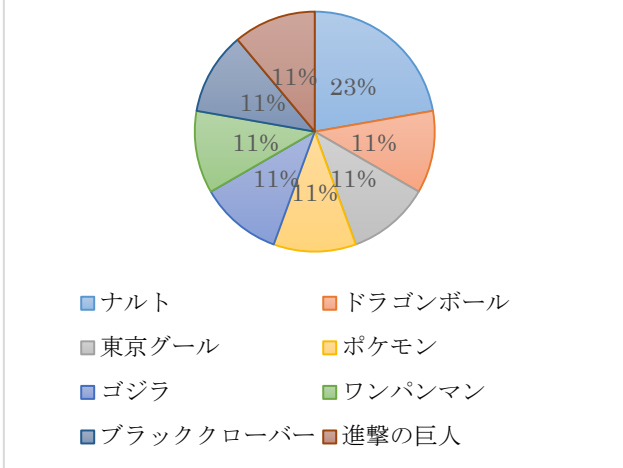
(2) どのようなアニメを知っているかについて

(知っていた人のみへの質問、複数回答可)

ナルト2票、ドラゴンボール、東京グール、ポケモン、ゴジラ、ワンピース、ブラッククロローバー、進撃の巨人が各1票ずつでした。

自分の知らないアニメもあったので好きな人はいろいろなアニメが好きなんだと思いました。

どのような日本のアニメを知っていますか



(3) 普段どのようなテレビを見ているのかについて

スポーツ (サッカー) 3票、スターウォーズ、PPST、アメリカンホアストーリーが各1票、ディズニー3票でした。

やはり自分の知らない番組もあってあとで観てみようと思いました。

(4) チャタヌーガで人気のアニメについて

分からない人が3人で分かる人が2人でした。人気なのはドラゴンボール、ナルト、僕のヒーローアカデミアでした。

3 まとめ

たくさんの生徒のみなさんに協力してもらうことができました。本当のことをいつか調べたいと思っていたので今回の研修で調べることができたのでよかったです。

思っていたよりアニメを知っている人が少なかったです。もっと知っている人が多いと思っていたので驚きました。

研修全体を通して感じたことや学んだこと 「夢のように楽しすぎた13日間！」

遠野中学校 2年 多田 彪華

私は今回初めての海外なので事前研修のときからドキドキして楽しみで仕方がありませんでした。

1月4日に遠野を出発して初めての空港でセキュリティ検査をし、とても長いフライトを終えて、アトランタ空港について2時間をかけてCSAS校に到着しました。

そこでは、ホストファミリーの皆さんが私を歓迎して下さいました。私は長いフライトと2時間の移動で疲れきっていてスーパーマーケットに着く前に少し寝てしまいました。

チャタヌーガについて2日目、テネシー水族館に先生のホストファミリーと一緒にいきました。水族館では海水水族館と淡水水族館がありました。海水水族館ではとても大きな水槽が何個もあり、私が今までに見た水槽の中で一番大きな水槽でした。サメやエイとふれあえるところもあり、とても楽しかったです。淡水水族館ではワニや川で生息している魚もいましたが、小さな動物園みたいなところやチョウチョ園のようなところもあり、とても楽しかったです。夜にはネイトのおじいちゃんとおばあちゃんと一緒にディナーをしました。

3日目からは、学校が始まりました。最初は自分の英語が伝わるか心配でした。とてもごちなかつたと思います。なんとか生徒の皆さんに自分の伝えたかったことを伝えることができました。折り紙やひらがなを教えることもなんとかできました。

4日目は、「千と千尋の神隠し」をみているときにとても面白い女の子に会いました。その女の子ととても仲良くなりました。

5日目は、市長に会いました。とてもフレンドリーな方でした。そのあと、UTCという大学の見学をしたあと、大学にあるビュッフェで昼食を食べました。

7日目は、ステージでプレゼンをしました。プレゼンではわたしの想像の倍以上の盛り上がりで驚きました。

8日目は大雨だったので自宅の地下でアメフトを観戦しました。

9日目は、朝ルック・アウト・マウンテンに登ってそこから父方のおじいちゃんの農場に行ってお飯を食べて夜にポットラックパーティーに参加して、とてもハードな一日でした。

10日目は、学校最後の日でした。なぜか少ししみりとした気持ちになってしまいました。

11日目は、出発の日でした。わたしは泣かないようにしていたけれどこらえきれなくて泣いてしまいました。

この派遣では、異文化のことをたくさん学ぶことが出来ました。驚きや楽しいことがたくさんあって一生忘れることのできないとても貴重な時間でした。

わたしは、今回の研修でアメリカに住み、日本語のALTになりたいと思いました。

最後にこの研修に携わってくださったすべての皆さん本当にありがとうございました！

I love Chattanooga !!

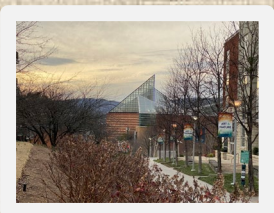
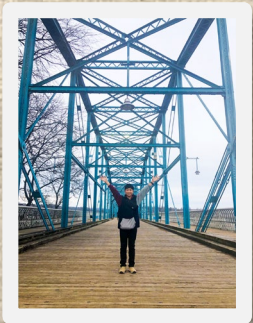
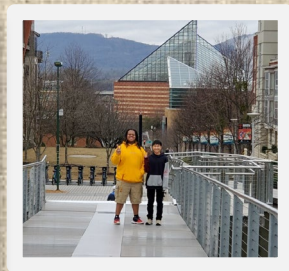
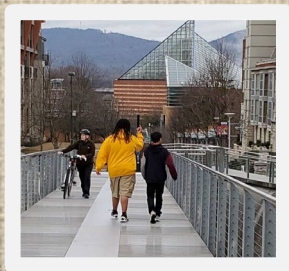
チャタヌーガの紹介

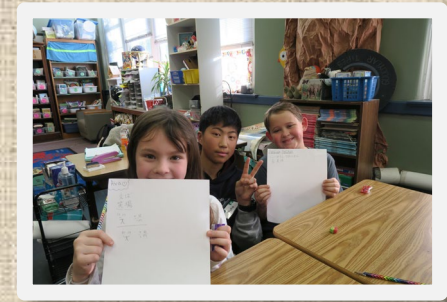
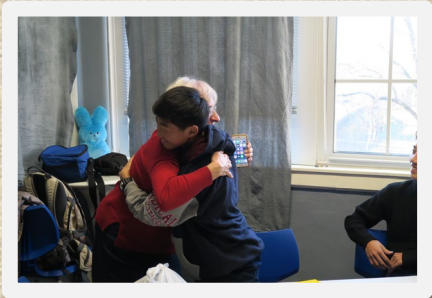
『CSAS校』

とてもフレンドリーな生徒たちがたくさんいるとてもいい学校で過ごしやすかったです！

I love CSAS.







Chattanooga CSAS

1 テーマ設定の理由

アメリカでは家の中でも靴を履いたまま生活しています。車の運転では右側通行、車も全部が日本車とは真逆です。分かっていることでもあります、日常生活、特に家庭では誰が料理をするのか、外食をすることはあるのか、また、ごみの分別はどのようにしているのか気になったので調べてみようと思いました。

2 内容と結果

(1) 誰が家で料理をしているか

母 … 46%

母、父 … 15%

母、父、自分や兄弟姉妹… 39%

約5割の家庭で母のみが料理をしている。

残りの約5割は母の他、父・自分や兄弟姉妹も料理をしていることが分かりました。

子供たちが料理をすることに驚きました。

(2) どのくらいの頻度で外食するか

週1回 … 30%

週2～3回 … 8%

週3～4回 … 8%

2週間に1回 … 23%

月に1～2回 … 8%

ほとんどしない … 23%

週に1回以上外食する家庭が約5割という結果でした。ほとんど外食しないという家庭が思ったより少なかったです。

(3) ごみの分別について

①ごみの分別をしているか

すべての家庭で分別をしている

②何種類に分別しているか

2種類 … 77%

(紙類、プラスチック)

3種類 … 16%

(紙類、プラスチック、段ボール)

6種類 … 7%

(紙類、段ボール、プラスチック1
プラスチック2、ガラス、金属)

ごみの分別については、すべての家庭で分別している。大きく分けると、紙類とプラスチックのようです。日本のように細かな分別がないことに驚きました。

(4) 週に何回ごみを出すか

毎日 … 38%

週1回 … 38%

週2回 … 16%

週3回 … 8%

毎日出している家庭が約4割、週1回から週3回出している家庭が約6割でした。

3 まとめ

このテーマについて調べてみて、食やゴミの分別は日本とかなりちがうが多かったです。

あくまでも自分の考えですが、日本では、外食をする家庭は少ないと思いますが、チャタヌーガでは、外食をする家庭が多かったです。

ゴミの分別は日本よりはしっかり分別できていなかったけど、分別しているということは、数年後にはもっと分別できるようになると思うので交流をもっと深め、おたがいの住む環境を良くして行ってほしいです。

研修全体を通して感じたことや学んだこと 「チャタヌーガでの貴重な体験」

遠野中学校 2年 常陸 佑斗

今回の派遣で初めて海外に行く僕は、初めての飛行機、異国での生活やコミュニケーションがとれるのか、期待と不安で胸をいっぱいにし出発しました。

飛行機の着陸時、窓から外がチラッと見え、思った以上に森林が多くて驚いたのと木が多いことで遠野みたい…と少しホッとしました。アトランタ空港から CSAS 校へ向かうバスの窓から見た沢山の大きな建物や看板、大きな高速道路に驚きました。CSAS 校に着くとホストファミリーが笑顔で出迎えてくれました。僕も笑顔で挨拶をしてハグをしました。その後、ホストファミリーと夕食を食べました。ホストファミリーに「Good?」と聞かれたので「Yes!」と答えました。何気ない会話をしているうちに次第に緊張がほぐれ不安から楽しみに変わりました。

次の日は休日で、一緒にウォルマートという大きなスーパーマーケットに出かけました。僕がホストファミリーに作ってあげる親子丼の材料と次の日から始まる学校に持っていくお弁当の材料を買いました。弁当作りはホストスチューデントのカールトンと一緒に作りました。たくさんチキンカツを作り、ソースも作りました。ケチャップソースはカールトンが大量に砂糖を入れたのでとても甘いソースになったけど、一緒に作ったチキンカツは最高においしかったです。僕が作った親子丼は味が少し薄かったけどホストファミリーは「Good!」と言ってくれました。

平日は、楽しみにしていた学校です。カールトンが運転する車に乗り登校しました。高校生のカールトンが運転すること、カッコイイ車に乗っていることに驚きました。学校が開くまでの待ち時間に、小さい子から高校生までフレンドリーで仲良く話しをして待っていることにも驚きました。学校はとても大きく教室はカラフルでロッカーに

は鍵がついていて日本の学校とは違いました。

学校に入ると手作りの歓迎ポスターが沢山貼ってありました。自分の名前も沢山あり感激しました。クラス交流では分からない英語もありましたが、ジュエチャーを交えながら会話を楽しむことができました。プレゼンテーション披露は練習してきたニューソーランを踊り、会場が盛り上がり大きな拍手をもらうことができ嬉しかったです。校長先生から記念のTシャツをもらう時、僕は笑顔でハグの準備をして待っていました。校長先生はスペシャルなハグをしてくれました。笑顔とハグは最高のコミュニケーションだと思います。

最後の休日はホストファミリーと教会へ行き、その後、水族館・ボーリング、そしてポットラックパーティーと盛りだくさんでした。僕のホストファーザーはとても優しく、ホストマザーはとても陽気な方です。ホストスチューデントのカールトンは優しくお兄ちゃんのような存在になりました。初めてのことばかりで不安でしたが、優しく教えてくれたり、たくさん話しかけてくれたり、見守ってくれて充実した生活を送ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。いつかまたホストファミリーに会いに行き、自分が成長した姿を見せたいです。

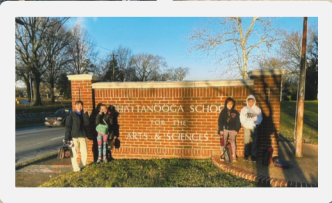
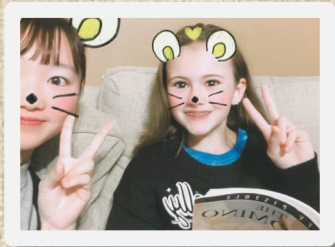
この素晴らしい経験を今後の生活に生かしていきたいです。

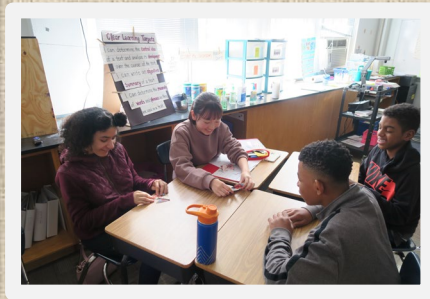
最後に、CSAS 校の皆さん、財団の皆さん、事前研修でお世話になった先生方、学校の先生方、家族、この研修に携わってくださったすべての皆さん、本当にありがとうございました。

チャタヌーガの紹介

『テネシー水族館』

大きな建物で淡水魚と海水魚の二つの建物に分かれています。珍しい魚がたくさんいます。小さいサメやエイを触ることもできて、おすすめです。





Chattanooga CSAS

研修テーマ 「アメリカの食」

遠野中学校 2年 菊池 董

1 テーマ設定の理由

アメリカと日本には、さまざまな文化の違いがありますが、なかでも、私は、食べることが好きなので、食文化の違いについて調べてみようと思いました。

まずは、日本にはカレーや肉じゃがなど、みんなが大好きな定番の家庭料理があります。アメリカにも、日本と同じように、人気の家庭料理があるのか知りたいと思いました。また、朝食・昼食・夕食・おやつなど普段の食事や、お祝いの時などに食べられる料理など、さまざまな場面での食について調べてみました。

2 研修内容と結果

CSAS 校で、アンケートをとりました。

- (1) あなたの好きな家庭料理はありますか。
YES ↓
- (2) それは何ですか？
- (3) 特別な日に食べる料理はありますか。
YES ↓
- (4) それは何ですか？
- (5) チャタヌーガで有名な食べ物は何か？
- (6) あなたのお気に入りの食べ物は何か？

アンケートの結果

『(2) 好きな家庭料理は？』

肉 シェパードパイ かぼちゃ料理 アイルランド料理 スペイン料理 デンマーククッキー ブラウニー など

『(4) 特別な日に食べる料理は？』

ターキー マルカンチーズ インド料理 かぼちゃ料理 ケーキ アイス など

『(5) チャタヌーガで有名な食べ物は？』

ムーンパイ(遠野の明けがらす?) チキン ハンバーガー バーベキュー 魚料理 など

『(6) お気に入りの食べ物は？』

フライドチキン フルーツ シーフード パスタ えび 麺 ポテトスープ アイスクリーム

3 まとめ

私の予想外の結果ばかりでした。

日本のように『定番』ではないのです。

家庭料理はまさに多国籍で、たくさんの国の人が自由に暮らすアメリカを象徴しているように感じました。

～番外編～

私がお世話になったホストファミリーでは、朝食はシリアル。昼食は、ホストマザーが作ってくれるサンドウィッチやフルーツ、生野菜やチーズの入ったお弁当。夕食は、パスタやピザ、ハンバーガー。お寿司を食べに連れていってくれた日もありました！

日本食の美味しさも、改めて感じる事ができました。

研修全体を通して感じたことや学んだこと 「大切なのは笑顔」

遠野中学校 2年 菊池 董

今回、初めて海外へ行く私は、期待と希望でワクワクする気持ちと、ちゃんとコミュニケーションがとれるだろうかという不安な気持ちでいっぱいでした。

1月4日、たくさんの家族に見送られ遠野を発ちました。成田空港からアトランタ空港まで飛行機で13時間。想像以上に疲れました。アトランタ空港からチャタヌーガまでのバスでの2時間の移動では、片道8車線もある道路の広さに、早速圧倒されました。無事に今回お世話になったCSAS校に着くと、ホストファミリーが私の名前を書いたボードを持って待っていてくれました。私を待っていてくれたのは、Trippファミリー、お父さん、お母さん、ライラ、オリビア、ショーンの5人家族でした。とても緊張している私に、ニックネームをつけてくれたり、日本語について聞いてくれたり、私の緊張をときほぐそうとしてくれました。そんな優しいTrippファミリーに、私も思い切って話しかけてみようと思いました。そんな私が、初めて発した英語は、『What is your name?』でした。

チャタヌーガについて2日目、ドキドキの起床。いつもより早く目が覚めました。休日だったこの日は、同じ派遣生の凜さん家族と一緒に、観光に連れて行ってもらいました。ロックシティーというチャタヌーガで有名な観光地の1つです。巨岩のテーマパークで、頂上に行くと、7つの州を見渡すことができ、それはそれは最高の眺めでした。2家族でとても楽しい1日となりました。

3日目からは、学校が始まりました。まずは、その学校の広さに驚きました。遠野中学校の5倍くらいはあるのでしょうか。CSAS校は、幼稚園から高校までが集まっていて、幅広い年齢層の子供たちと接することができました。そして、日本の学校とアメリカの学校の違いもたくさん感じました。教室がカラフルでとても明るく、生徒も服装

が自由で、化粧や髪形アクセサリーなど、本当に個性豊かでした。また、先生も生徒も、お菓子や飲み物を飲みながら授業をしていたり、とても自由で楽しげな雰囲気でした。日本のお菓子も大人気でした。廊下を歩けば、『Good morning!』や『Hi!』などとフレンドリーに声をかけてくれて、海外の学校に緊張していた私も、とても楽しく嬉しい気持ちになりました。アメリカの学校は、一人ひとりが自分の個性を出していて、自分らしさを大切にしていると感じました。

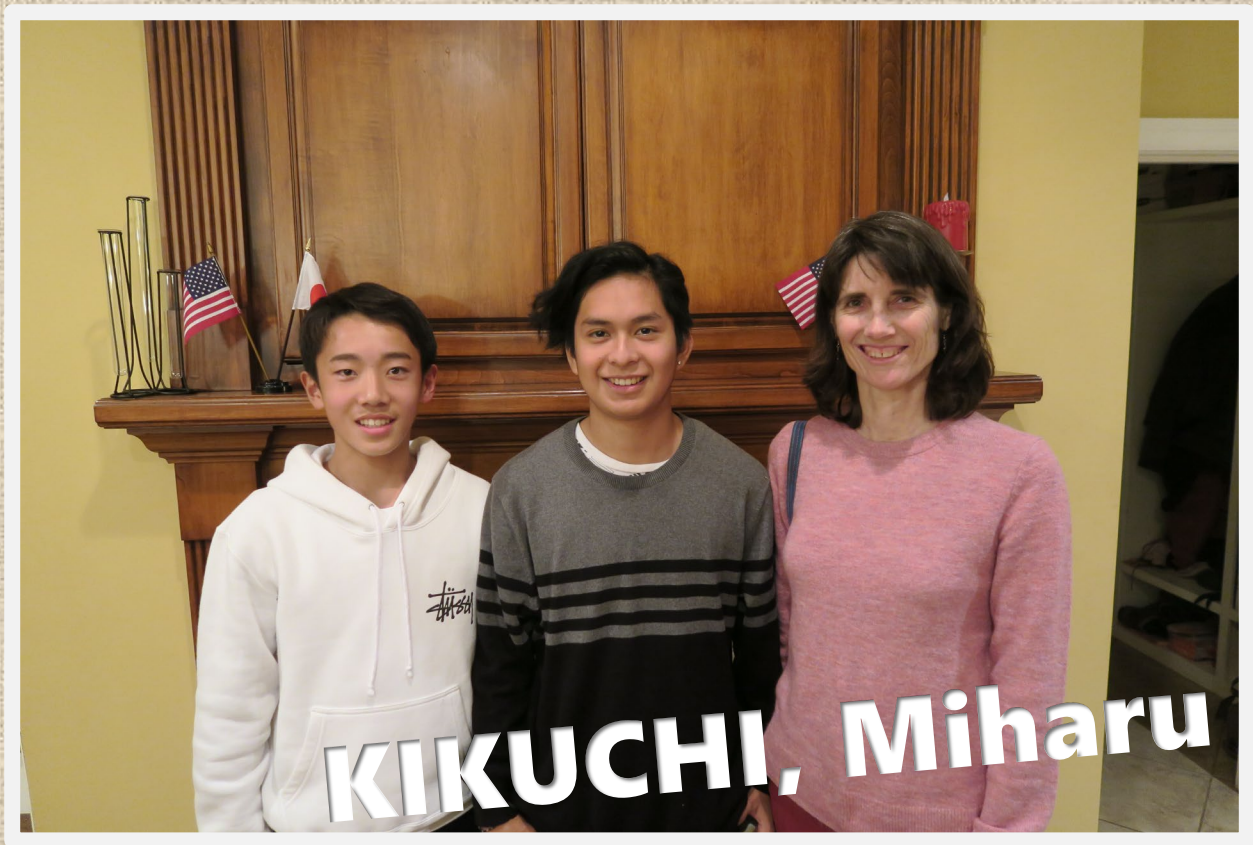
7日目の休日、とても楽しみにしていたテネシー水族館に連れて行ってもらいました。日本では見ることのできない魚もいたり、エイやサメなどを触ることのできるコーナーがあったり、ホストファミリーとたくさんの写真を撮って、とても楽しい思い出の1日となりました。

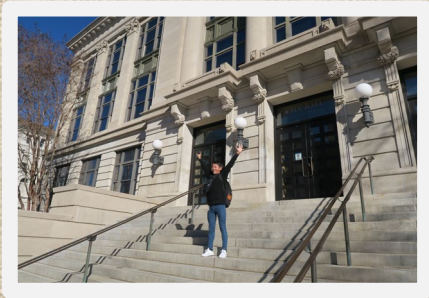
10日目、あっという間のホストファミリーと過ごす最後の日。この日は、チャタヌーガでの日々を思い出しながら、それまで話せなかった事をたくさん話しました。そして、日本から持って行った味噌ラーメンを作って食べてもらいました。喜んでくれました。

いよいよ帰国の日。ホストファミリーと別れる時はとても悲しく寂しい気持ちと、最後の最後まで温かく優しく接してくれたホストファミリーへの感謝の気持ちでいっぱいでした。

今回の研修は、とても貴重で充実した期間でした。初めて体験する事ばかりで毎日がとても楽しかったです。どこの国へ行っても『笑顔』でいる事が1番のコミュニケーションになる事を学びました。

最後に、私を受け入れてくださったTripp家の皆さん、引率の伊香さん、臼沢先生、ルイーザ先生、CSAS校の皆さん、遠野市教育文化振興財団の皆さん、そして家族のみんな、ありがとうございました。





Chattanooga CSAS

1 テーマ設定の理由

私はスポーツが好きなので私はチャタヌーガの人気スポーツが知りたいと思いました。

また、日本では放課後部活動として活動していますが、チャタヌーガではどのように活動するのか気になったのでこのテーマにしました。

2 内容と結果

(1) 調べる内容と方法

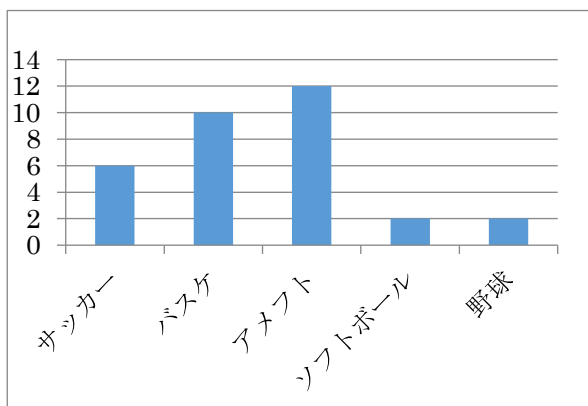
内容

- ・人気のスポーツ
- ・好きなスポーツ
- ・サッカーとバスケどっちが好きか？

方法

- ・CSAS 校の生徒にアンケートを行う

(2) 人気のスポーツについて



人気のスポーツを調べた結果

予想としては、バスケットボールが1番人気だと予想していましたがアメフトが1番人気で驚きました。

(3) 好きなスポーツについて

実際にするのが好きなスポーツと見るのが

好きなスポーツについて調べました。

プレイ

- ・サッカー
- ・バスケ
- ・バレー

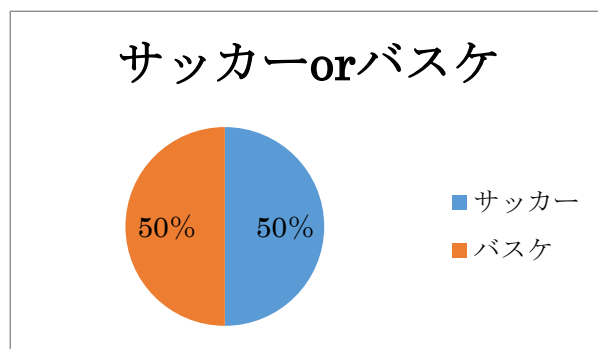
この3つが多くてその他は

- ・水泳
- ・野球
- ・アメフト

見る

- ・アメフト
- ・サッカー
- ・バスケ
- ・バレー
- ・ホッケー
- ・ソフトボール

(4) サッカーorバスケ



サッカーとバスケではどちらが好きか？についての結果は、サッカー50%バスケ 50%という結果だった。

3 まとめ

アメリカ(チャタヌーガ)では、サッカーもバスケやアメフトと同じくらい人気で驚きました。

私はホストステューデントの子とも一緒にサッカーをし、とても楽しく交流出来ました。

なのでスポーツは国関係なくみんなが楽しめる世界の共通点でもあると感じました。

研修全体を通して感じたことや学んだこと 「出会いを大切に」

遠野中学校 2年 菊池 弥陽

今回、私は海外に行くのが初めてで何もかもが分からないまま面接はクリア！！

その後から始まった事前研修。まずこれがなければ私は楽しい生活ができなかったと思う。事前研修では、臼沢先生をはじめ財団の方、右近先生、ALTの先生などたくさんの方にたくさんの事を教えてもらいました。英語の授業、アメリカのお金について、お店屋さんでの注文の仕方を主に実践形式で練習しました。

いよいよ出発の日、出発式を終えたたくさんの方がお見送りをしてくれました。成田空港に着くとまず出国審査をし、無事クリアしました。12時間のフライトはとても長くて疲れしました。アトランタ空港に着くと入国審査がありました。その担当の方は、私にとってはとても怖かったが無事入国する事が出来ました。その後はバスで約2時間かけCSAS校に向い、そこではホストファミリーが温かく迎えてくれてとてもうれしかったです。ホストファミリーの家に着くと夜ごはんを食べました。そこでたくさん話しかけてもらっているけれど私は何話しているかまったく分からずとても苦労しました。そして次の日は水族館に行きました。水族館はとても大きくビックリしました。淡水魚と海水魚が別々の建物にあって一つ一つの展示がとても大きかったです。そのあとは家族でピザを食べに行きました。まずそのピザのでかさに圧倒されました。

CSAS校への登校1日目、この日は小学校低学年と触れ合いました

火曜日、中学校1・2年小学6年生の人達と交流しました。「千と千尋の神隠し」を見ました。また最後に楽しいゲームを考えていてくれてすごくいい交流ができました。夜はマックを食べました。すごくでかかったし、美味しかったです。

水曜日、市役所へ行き市長さんと会いました。

午後は、UTCというチャタヌーガ大学に行きバイキングを食べました。ハンバーガー2つ食べました。

木曜日、夜にスカイ山下君ファミリーと食事会をしました。

金曜日、プレゼンテーションをしました。1000人の前でパフォーマンスは緊張したけど楽しかったです。

土曜日、みんなのお土産を買いに行きました。また嵐も来て雷や雨がとてもすごかったです。

日曜日、シグナルマウンテンに行きハイキングをしました。とても絶景で感動しました。夜はポットラックパーティーがありました。みんなで楽しく盛り上がりました。

最終日は放課後に、凜さんのホストファミリーと大好きな馬を見に行きました。とてもかわいかったです。

そのあとメキシコ料理を食べに行き、とても美味しかったです。次の日は朝早く出発しました。すごく寂しかったけれど笑顔で別れを告げることができました。

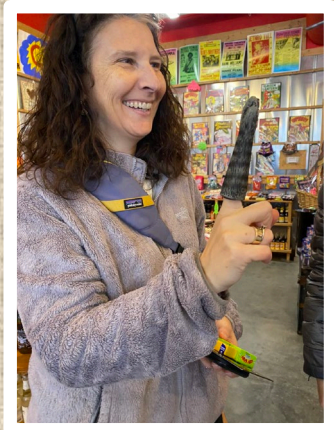
この研修では、ホストファミリーやCSAS校の生徒の優しい人達との出会いがありました。人と人との出会いがどれほど大切か実感しました。なので私はこれからは一つ一つの出会いを大切に笑顔で過ごしていきたいです。

最後に、この派遣事業を安全にサポートしてくれた伊香さん、臼沢先生、ルイーザ先生、事前研修でお世話になった方々ほんとに有難うございました。

チャタヌーガの紹介

『チャタヌーガチューチュー』

でかい車があり、アーケードゲームやスケート、ギフトショップなどもあります。夜行くとイルミネーションがきれいなのでおすすめです。





Chattanooga CSAS

1 テーマ設定の理由

遠野には遠野まつりという大きな祭りが年に一度あり、毎年多くの市民が参加し盛り上がっています。私も参加して楽しんでます。そこでチャタヌーガにはどのような祭りやイベントがあるのか興味を持ちました。また、遠野と同じように市民自身が参加するのか、郷土芸能などはあるのかなど、遠野との違いや共通点を見つけないかと思ったからです。

2 内容と結果

C S A S校の生徒 20 人にアンケートを取りました。

(1) 祭りの有無について

チャタヌーガには祭りやイベントがありますか？

はい 19人

いいえ 0人

その他 1人 (祭りとは言えないが小さな行事はある)

遠野と同じようにチャタヌーガにも祭りやイベントがありました。ほとんどの人が有ると答え、祭りやイベントが、市民に馴染んでいると思います。

(2) 祭りやイベントの種類について

どのような祭りやイベントが有りますか？

・ミュージックフェスタ 9人

・フードフェスティバル 5人

・リバーベンド 3人

・コーンブレッドフェスティバル 2人

・パレード 2人

・カーニバル 2人

・スポーツイベント 1人

チャタヌーガには、音楽の祭りや食べ物の祭りがありました。チャタヌーガの人達はよく音楽を歌ったり聞いたりしていました。音楽

の祭りがあるのが、影響していると思います。

遠野のような郷土芸能は無いということが分かりました。

(3) 祭りやイベントの参加について

祭りやイベントに参加したことはありますか？

はい 9人

いいえ 11人(参加してみたいと答えてくれた人もいました)

遠野と同じように地元の祭りやイベントに参加している人もいます。中には参加してみたいと言う人もいて祭りやイベントは人気だと思いました。

(4) 祭りやイベントの好感度について

祭りやイベントは好きですか？

はい 19人

少しそう思う 1人

いいえ 0人

祭りは友達を作ることが出来るから好き。と答えてくれた人がいました。祭りを通して友達を作ることが出来ると思いました。遠野でも祭りはとても好かれているので共通する部分だと思いました。

3 まとめ

チャタヌーガの祭りやイベントを調べてみて、遠野と同じように祭りやイベントはたくさんありました。ですが、郷土芸能は無いことが分かりました。市民が参加していることもわかりました。

遠野には無いミュージックフェスタがあるのは文化の違いだと思いました。遠野との共通点や違いを見つけることが出来ました。

研修全体を通して感じたことや学んだこと 「最高の13日間」

遠野中学校 2年 小玉 彩瑛

今回、初めて海外に行く私はワクワクと共に不安でいっぱいでした。言葉は通じるのか、コミュニケーションを取ることが出来るのか、たくさんの不安を抱えて旅立ちました。

アトランタ空港に着き、バスでチャタヌーガまで移動しました。窓から見える景色はどれも初めての物ばかりで感動しました。

CSAS校に着くとホストファミリーが出迎えてくれました。とても優しく、面白い人達で安心しました。このころには不安よりも楽しみの方が大きくなっていました。

1日目、朝ホストファミリーと一緒に教会へ行きました。そのあとチャタヌーガのダウンタウンを散歩しました。たくさんのお店がありとても大きな街でした。お昼に食べたピザはとても美味しかったです。その後スーパーへ行きました。日本と比べて種類がたくさんあり驚きました。

2日目から学校が始まりました。ホストスチューデントと一緒に登校しました。始めて行く学校に緊張していましたが、みんな優しく接してくれました。生徒達に折り紙を教えました。最初は教えるのが大変だったけど慣れていくうちに楽しみながら交流することができました。みんな完成するととても喜んでくれて嬉しかったです。最後に女の子が私にハグしてくれました。とても嬉しかったです。幼稚園のクラスでは、園児達が絵本の読み聞かせをしてくれました。一生懸命読んでくれてとても嬉しかったです。

4日目にはアンディ・バーク市長に会いました。その後UTCに行きました。とても広い大学でした。優美さんと鈴木さんの講演にはとても感動しました。夜に、いくつかのホストファミリーが集まってお寿司を食べました。

5日目から、また学校へ登校しました。中学生のクラスへ行き、美術の授業に参加したり、高校

生と体育をしたりしました。日本では受けたことの無い授業を受けることが出来ました。Eラボという授業では高校生達と一緒にTシャツを作りました。高校生のクラスへ行き折り紙を教えたとき女の子が私に蝶を折ってくれました。うれしかったです。みんな優しく最高の学校でした。

ホストファミリーとはたくさんの思い出を作ることができました。スケートにも行きました。最後の日曜日、みんなが集まりホームパーティーをしました。みんなでいい思い出を作ることができました。ホストファミリーはいつも優しくかったです。いつも私のことを気にかけてくれました。出発の日もサンドイッチを作ってくれました。最後には笑顔で送り出してくれました。私を受け入れてくれたことをとても感謝しています。

最後に、引率の伊香さん、白沢先生、ホストファミリー、CSAS校の先生方、事前研修で英語指導をしてくれた右近先生、ALTの先生方、研修に携わってくれた方々、本当にありがとうございました。

Thank you very much !

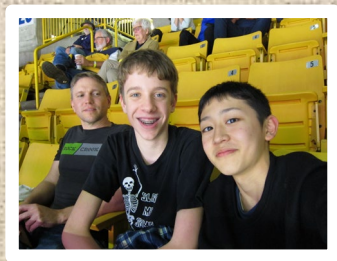
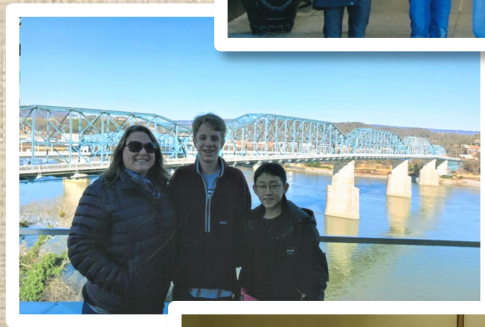
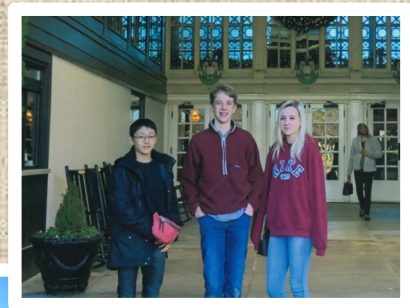
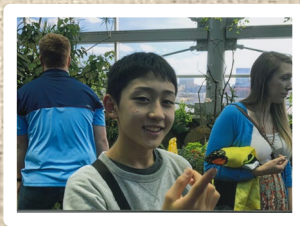
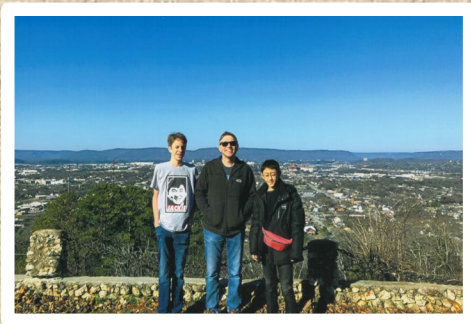
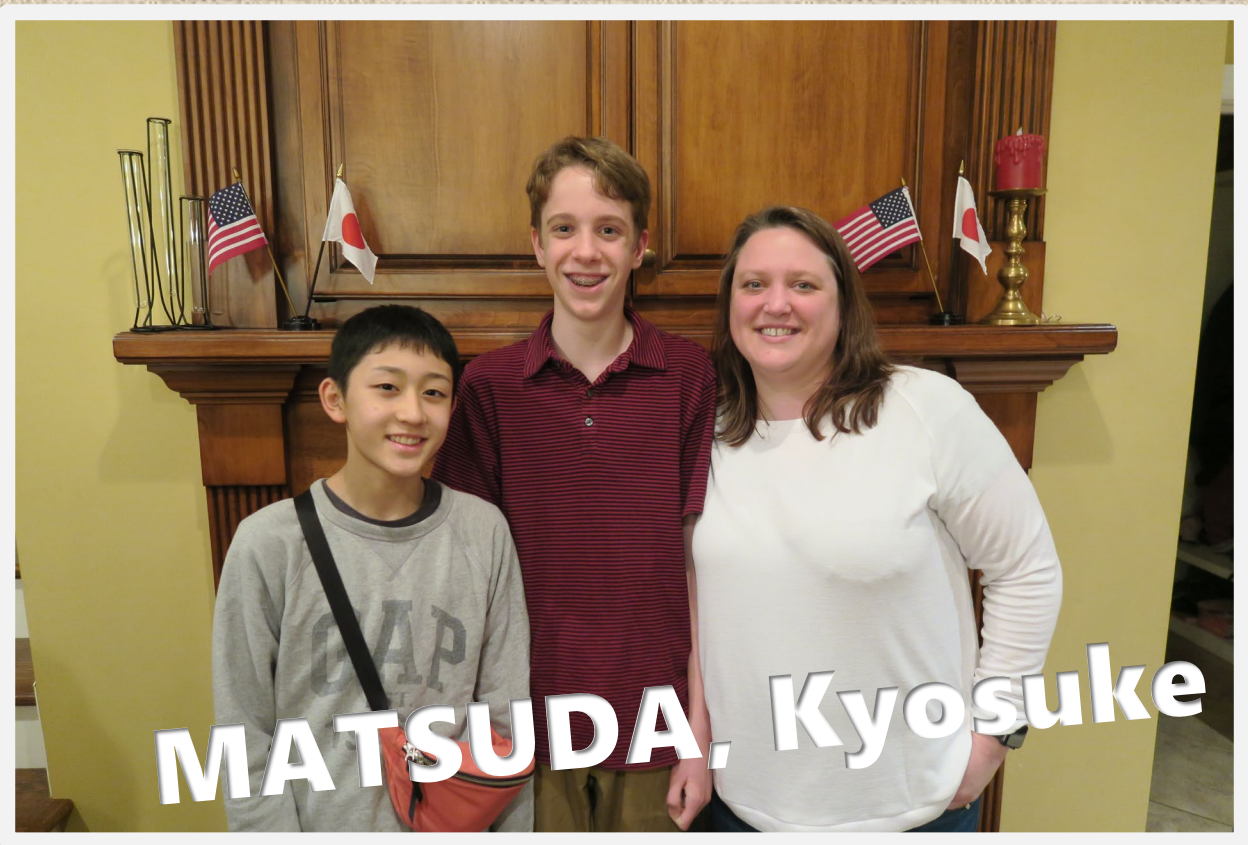
チャタヌーガの紹介

『CSAS校』

とても優しい先生と生徒がいて、とても楽しい学校です。

たくさんのことを学ぶことができます。







Chattanooga CSAS

1 テーマ設定の理由

遠野市とチャタヌーガ市は約30年交流を続けてきました。その交流の中で遠野のことはどのくらいチャタヌーガの人達に知られているのか調べてみたいと思ったからです。

2 内容と結果

(1) 質問する内容

次の項目について質問をし、答えてもらう

- ① あなたは遠野を知っていますか。
- ② 遠野はどこにあるか知っていますか。
- ③ 遠野物語を知っていますか。
- ④ 遠野物語のどんな話を知っていますか。
- ⑤ 遠野物語は遠野で昔起こったことをまとめた書物ですが、チャタヌーガにもそのようなものはありますか

(2) 調査対象

CSAS校の生徒全学年を対象に20人にインタビューを行った

(3) 結果

- ① Do you know Tono?

Yes 10人

No 10人

- ② Do you know where Tono is?

※①にYesと答えた人のみ質問

Yes 6人→全員が「Japan」と答えた

No 4人

- ② Do you know Tono Monogatari?

No 20人

- ④What do you know about Tono Monoatari?

※③でYesと答えた人がいなかったため0人

- ⑤ Tono Monogatari is a book that

summarizes what happened in Tono in the past.

Is there something like this in Chattanooga?

Yes 4人

No 16人

3 まとめ・感想

- ・30年もの交流のおかげで、交流に直接関わっている人以外にも少しずつ遠野の名前が浸透していると感じました。
- ・遠野を知っている人は思ったより多かったが、場所については日本にあるということまでしか分からないようでした。岩手という単語を知っている人は一人もいませんでした。
- ・「遠野物語」を知らない人が全員だったのは意外でした。今回インタビュー出来たのは生徒だけだったので、遠野物語のことを知らない人が多かったのは仕方がないと思いましたが、今後の交流の中で遠野物語のことを紹介できる子供向けの英語の紙芝居をしたり、ちょっとした小話をしたり出来れば、遠野や遠野物語のことを生徒達にももっと知ってもらえるのではないかと思います。
- ・チャタヌーガでも遠野物語のような話があるらしいものの、時間と英語力の関係で詳しく聞けなかったのは残念でした。
- ・調べるだけでなく、自分から遠野を紹介出来るような何らかの材料を用意しておけば良かったです。

研修全体を通して感じたことや学んだこと 「Thank you chattanooga！」

遠野中学校 2年 松田 郷佑

今回チャタヌーガ研修に参加し、たくさんの経験をする事が出来ました。いろいろなことが初体験で、でもその全てが楽しくワクワクするものでした。

ホストファミリーの Staszewski 一家と初めて会った時、僕は自分の英語が伝わるかどうか不安で何も話す事が出来ず、静かにほほ笑むだけでした。そんな僕に、家族みんなが積極的に話しかけてくれ、難しそうな言葉は Google 翻訳を使ってコミュニケーションを取ってくれました。次第に心がほぐれて、簡単な単語を使って思い切って話してみたらちゃんと通じたので、そこからは自信を持って英語で話せるようになりました。

この人達に自分の気持ちを伝えたい！という思いが英語という道具を使って叶った時の嬉しさを僕はこれからもずっと忘れないと思います。

初めてのホームステイも、Staszewski 家はみんな明るくて優しい人達だったので何の困りごともなく楽しく過ごす事が出来ました。毎朝僕のためにご飯と味噌汁を出してくれたり、寿司を食べに連れて行ってくれたりと僕がホームシックにならないように気を遣って頂きました。その気遣いに「sorry」と言うと「No sorry!」と言われ、そこからは心を込めてたくさんの「Thank you」を伝えました。言葉も大切だけど、表情や笑顔がとても大切だと感じました。

ウォーリーやタイラーと一緒にゲームやスポーツをしたり、犬の Posy と遊んだのもいい思い出です。帰国後もホストファミリーとメッセージをやり取りして会話を楽しんでいます。また必ず会いたいです。

また CSAS 校では、折り紙の折り方を教えたり、生徒の名前を平仮名やカタカナ、漢字で書いてあげる等、多くの交流が出来ました。校内のいたる

所に僕達一人一人の名前を入れた歓迎の看板が貼られていて、とても嬉しかったです。

今回の僕達の交流も二つの市を温かくつなぐ歴史の 1 ページになって、これから先もずっと良い交流が出来るといいなと強く思いました。

今回チャタヌーガに行ったことで、僕にはいつか留学をしてみたいという新しい夢が生まれました。自分が思っていた何百倍も世界は広いということ、人種や言葉が違っても気持ちが通じ合えるということ、今回感じたたくさんの発見を土台に、英語の勉強だけでなくこれから積極的にいろいろなことに挑戦していきたいです。

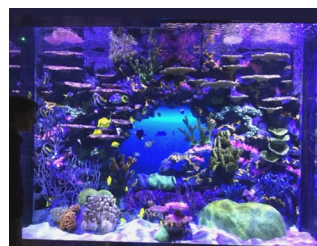
最後に、僕を受け入れて下さった Staszewski 家の皆さん、ルイーザ先生をはじめとする CSAS 校の皆さん、チャタヌーガ市長や職員の方々、引率して下さった伊香さん、臼沢先生、研修でお世話になった方々、遠野市教育文化振興財団の皆さん、学校の先生や家族、その他この研修を支えて下さったすべての皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

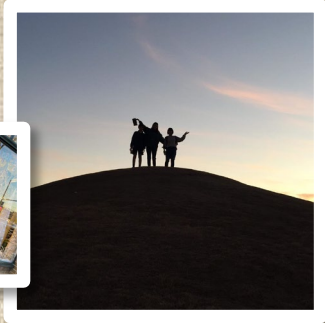
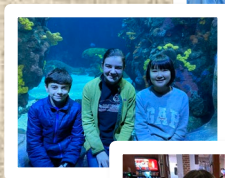
I love Chattanooga!!

チャタヌーガの紹介

『テネシー水族館』

とても大きい建物で、魚だけでなく植物園もあり、見どころがたくさんあるところです。サメに触れたり、蝶を指に止まらせたりすることが出来てとても楽しかったです。







Chattanooga CSAS

1 テーマ設定の理由

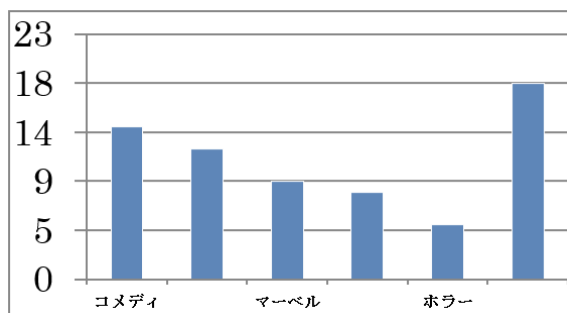
私は、アメリカのコメディドラマが好きで良く見えています。映画といたらアメリカで制作された映画がよく人気になり見る機会があると思いますが、アメリカ人は普段どんな映画を見ているのか、日本の映画の知名度を知りたいと思いこのテーマを設定しました。

2 研修内容と結果

今回私は、CSAS 校の小学校高学年～高校生、ホストファミリーを対象にアンケートを行いました。

(1) 映画のジャンルについて

(一人複数回答あり)



普段映画を見るかという回答に9割以上の方が映画を見ているという結果になりました。その中でも映画のジャンルはコメディ映画が一番人気がありました。その他にはミュージカル、ロマンス、SF、アニメなどがあげられました。

(2) アメリカ人の好きな映画について

人それぞれの好みがあり、回答にバラつきがありました。このようなタイトルの映画があげられました。

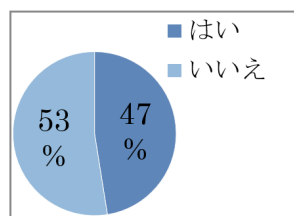
- ・LALALAND ・Ready player ・step brothers
- ・Home Alone ・STAR WARS ・Doctor strange ・Jumanji ・Greatest showman

このように知っている映画の名前もありましたが、知らなかった映画もあり興味を持ち

ました。

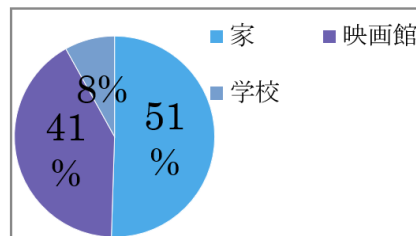
(3) 日本の映画を知っているのか

日本の映画を知っている人は約半分の結果でした。知っていると答えた人の日本の映画のタイトルは全員一致で「千と千尋の神隠し」でした。私は日本の映画を知っている人はもっと少ないと思っていましたが、半数の人が知っていて驚きました。



(4) 映画を見る場所、何で見ているのか

(一人複数回答あり)



半数が家で見るのが多く、また学校で見るという人もいました。これは学校の授業で映画をみるということです。またテレビで見ている人の他にスマートフォンで見ている人もいました。

3 まとめ

この結果から人気の映画はコメディ映画だということを知りました。私もコメディドラマが好きなので、面白いと思う映画はアメリカでも日本でも共通しているのだと思いました。アンケートに回答してくれた生徒達と映画の話題を通してコミュニケーションをとれる1つのツールでもあったので楽しく話せることができました。

研修全体を通して感じたことや学んだこと 「10 days of treasure」

遠野東中学校 2年 菊池 愛香

1 CSAS 校で感じたこと

まず、学校に行って驚いたことはアメリカの学校は日本と違うということです。私服登校で、髪の毛を染めていたり、アクセサリーをつけていたり、お菓子を食べながら、スマートフォンを授業中に使っていたり、日本では驚くようなことが沢山ありました。何より一人一人の個性や魅力が感じられ、積極性がある生徒が多くいました。CSAS 校の生徒に折り紙を教える際、最初はどのようにしているのかわからず、戸惑ってしまったところがありましたが、私に話しかけてくれたおかげで、一生懸命教えることができました。また、さよならパフォーマンスでは、今まで練習してきた成果もあり、今までに味わったことのない大声援のおかげで私たちも盛り上がることができました。

2 ホストファミリーとの思い出

生活環境が全てが英語になり、何をすることも英語で伝えないといけないという環境に、初めは自分からホストファミリーと積極的に話すことができませんでした。が、ホストファミリーの優しさや温厚な人柄の良さに自分から日本の文化や折り紙を教えたり、ジェスチャーを使って伝えたり、ホストファミリーと UNO をしたり、交流することができました。更にはエリオットの友達の家遊びに行き一緒に卓球をしたり、バスケットをしたり、ホストファミリーだけでなく様々な人とコミュニケーションをとることができました。その中でも、1月5日にホストファミリーのエリオットが12歳の誕生日を迎え一緒に祝えたことが思い出です。エリオットの誕生日を事前に知っていたので、誕生日プレゼントに日本のお土産を用意してプレゼントを渡したらとても喜んでくれたので、日本の文化を伝えつつ交流を深められました。

3 まとめ

今回の派遣ではとても貴重な体験で、あっという間の13日間でした。初めはうまく話せるか、不安ばかりありましたが、ホームステイしてみると、毎日が楽しく充実した日々でした。研修が終わる頃には帰りたくない気持ちが強く残りました。日本とは違う文化に触れることもできましたが、今後もアメリカについてもっと知りたいと感じました。学んだことをもっと多くの人に伝え、チャタヌーガについてたくさんの人が興味を持って欲しいです。チャタヌーガで体験したことを学んだことを学校生活でも積極的に活動していき、成長した姿をまたホストファミリーに見せることができたらいなと思います。この貴重な体験は私にとって大切なものとなりました。最後に、この研修を支えてくださった皆さんに感謝しています。本当にありがとうございました。

I' ll be back again!!

チャタヌーガの紹介

『FIVE GUYS』

私が紹介するオススメの場所は「FIVE GUYS」というハンバーガーのお店です。

具材を自分でトッピングすることができ、ハンバーガーは肉厚でかつジューシーでとても美味しく、アメリカに行ったらまた食べたいです！







Chattanooga CSAS

1 テーマ設定の理由

遠野市には観光名所が多数あり、多くの人が県内外、国外からも訪れています。

私は、去年の派遣生から、チャタヌーガ市についていろいろなことを聞くと、チャタヌーガ市にもいろいろな観光名所があることを知りました。実際にどんなところあるのか、調べることにしました。

2 内容と結果

(1)～(4)はCSAS校の生徒の方17名にアンケートに答えてもらいました。

(1) Q、チャタヌーガ市の誇れるところは
何ですか？

1位・・・自然、山、テネシー川 (7名)

2位・・・チャタヌーガチューチュー (3名)

3位・・・ストリートブリッジ (2名)

その他・・・他の国との絆、アウトドア、アクティビティー

(2) Q、日本人におすすめしたいところは
何処ですか？(複数回答あり)

1位・・・ルックアウトマウンテン (5名)

2位・・・テネシー水族館 (4名)

ダウントウン

ストリートブリッジ

その他・・・チボリ劇場

インクライン鉄道

スモーキーマウンテン

ルビー滝

(3) Q、遠野市の観光地で行ってみたいところは
何処ですか？

※写真から選んでもらいました。

1位・・・カップパ淵 (13名)

2位・・・曲がり家 (2名)

3位・・・めがね橋 (2名)

(4) Q、チャタヌーガ市のイベント等はある
りますか？

・アイアンマントライアスロン

・リバーバンド音楽祭

・チリフェスティバル

・車のショー

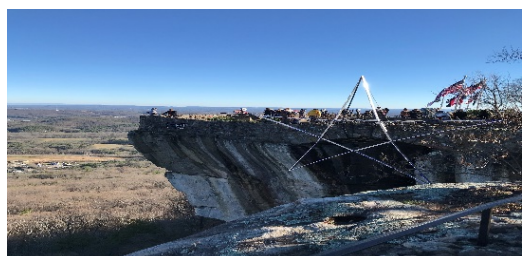
・スケートボードイベント

3 まとめ

CSAS校の生徒の方にご協力していただき、チャタヌーガ市の観光名所について調べることができました。

チャタヌーガ市にもいろいろな観光名所があり、おすすめ人気スポット1位は、今回私も実際に訪れることができた、ルックアウトマウンテンでした。自然がつくった地形や景色はとても素晴らしかったです。誇りに思い、おすすめに選ぶ理由が分かりました。

今回訪れることができなかったおすすめの場所や、イベント等もいろいろあることが分かったので、また、ぜひ行ってみたいと思いました。



研修全体を通して感じたことや学んだこと 「最高の13日間」

遠野西中学校 2年 佐藤 凜

私は、この海外派遣交流のことを1年生の時に知りました。私は、その夏、CSAS校の生徒一人をホストファミリーとして受け入れました。しかし、あまりコミュニケーションがうまくとれず、もっと話しかけたりすればよかったと心残りがありました。このようなきっかけもあり、今回、私は、チャタヌーガへ行きました。行けることが決まった時とてもうれしかったです。

そして、期待と不安が交差する中、ホストファミリーに会うと、その不安はすぐに吹き飛びました。会うと、優しく受け入れてくれ、さっそくピザ店に連れて行ってくれました。アメリカンサイズのピザに、はやくも圧倒されました。すぐにお腹も心も満たされました。

休日はルックアウトマウンテンなどの観光をしました。チャタヌーガの街並みなどたくさん見たり感じたりすることができとてもよかったです。

CSAS校への登校は、たくさんの教室をまわり、折り紙を折ったり、ひらがなや漢字などの日本の文化を教えたりしました。何気ない会話が楽しかったです。

ホストファミリーのアンジェリーナは同じ年で、会話も弾み、ボードゲームを楽しむ毎日でした。ホストマザーのジュニーが作ってくれた夕食もおいしかったです。CSAS校まではホストファザーのロンが送ってくれました。毎日「Have a nice day!」と言ってくれてうれしかったです。

校外学習の市庁舎訪問では、アンディー・バーク市長と職員の方が温かく迎え入れてくれました。また、UTCは敷地面積がとても広く、建物の大きさにも驚きました。準備したパフォーマンスは、ホストファミリーも生徒も楽しみにしてくれていたのので、私は朝からドキドキしましたが、無事成功し、とても盛り上がりました。

2回目の休日は、私が一番行きたいと思ってい

たテネシー水族館に連れて行ってもらいました。魚の数やスケールの大きさに興奮でした。家族や友達、遠野の人たちにも見せたいな、もう一度来たいなと思いました。

今回私は、ホストファミリーや、生徒、先生方とコミュニケーションをとろうと、積極的に会話をするように心がけました。国は違っても、人のあたたかさは変わらないことを感じました。今回の13日間は、長いようで、とても短く、あっという間に過ぎました。もっと滞在したいと思いました。この13日間は、充実した毎日で貴重な経験となりました。この経験は、今後に活かしていきたいと思います。

最後に、このような体験ができたのは、遠野市教育文化振興財団をはじめとした、派遣に関わる多くの方々の支えがあったからだと感謝します。

ありがとうございました。

チャタヌーガの紹介

『テネシー水族館』

珍しい魚やおもしろい生き物などがたくさん見れます！スケールの大きな水族館は、とても迫力があり、中でも、ワニの数の多さには驚きです！



We love Chattanooga! チャタヌーガで学んだこと

遠野市立遠野東中学校 教諭 白沢 紀子

「せっかくのアメリカ!こんなチャンス絶対にいいに決まっている!楽しまないと!」アメリカ出発の前日に、緊張している私に対して小5の息子からこう言われました。今回で2回目となるアメリカ。私の最大のミッションは、

「11名全員が無事に帰国すること。」でした。実際に何もなく無事に帰国でき、本当に良かったです。そして今回の体験は派遣生だけでなく、私の人生にとっても、かけがえのない貴重な体験となりました。

私たちはチャタヌーガ市中心部にある CSAS 校で授業体験をさせていただきました。まず初めに驚いたことは、学校全体で歓迎のおもてなしを受けた事です。入り口には Welcome の文字が、また廊下のいたるところに生徒や引率者達を歓迎するポスターが張られていました。事前調査票を基に個々に応じて作られており、時間をかけて準備して下さった思いに感動しました。また毎日の授業にルイーザ先生と、もう一人現地の先生または生徒がついてくれ、何か困ったことがあるとすぐに対応してくれました。遠野に来た際に、参考にしたい事だと思いました。派遣生たちは、初日は小学校のクラスを20分刻みで回り、折り紙や児童たちの名前をひらがなやカタカナ、漢字の書き方を教えて交流を深めました。事前学習で学んだ英会話を使い、また携帯電話の翻訳機能を活用しながら、笑顔で授業を行いました。6日目の高校生との合唱の授業では、日本の曲 Bee (蜂が飛ぶ) を、全員で日本語の歌詞で歌いました。音楽の先生がピアノの音とりが違っていたため、榎乃さんが急遽ピアノを弾いて教え、その他の派遣生は3パートに分かれて、最後に全員で輪唱して歌った経験は、皆の心が一つになった瞬間でもありました。

7日目のパフォーマンス発表も New ソーランの踊りがどう伝わるか不安でしたが、CSAS の文字がポンポンで表現された瞬間、1000人近くの生徒たちの歓喜の声沸き上がった時は、本当にうれしかったです。派遣生たちは、最後の日までCSAS校で充実した日々を送ることができました。また私も改めて英語学習の大切さを痛切に感じ、日本での日々の授業を大切に、生徒たちに英語を教えていきたいと決意しました。

滞在中はレーザンビー家にお世話になりました。母親のスーザンはテネシー大学でITのお仕事を、父親のジョンは保険会社、CSAS校の高3のジョン(リトルジョンと呼んでいました。)は建築家を、高1のキャサリンは弁護士を目指し、日々勉学に励んでいました。アメリカ滞在中で最初に驚いたことは、男性がドアを開けてくれることでした。とても自然で、日本でもこのようなエスコートができる社会になるとよいのにと感じました。家にはアレクサ(AIの機械)があり、最先端な生活である反面、スーザンは仕事で忙しい中、手作りの食事を心がけ、また近所づきあいを大事にし、どんな人とも笑顔で交流していました。国が異なっても大事にしたいことは、今も昔も変わらないのだと改めて感じました。また彼女と子育て論について話し合えたことも、私の生き方に大きな影響を与えました。さらに家族に対して、毎日相手を大事に思っていることをしっかり伝え、ハグする…。きちんと気持ちを伝えることの大切さを教えてくれました。私にとって第2の家族ができ、今後も連絡を取り続けていきたいと思いました。

今回このメンバーと旅をし、素敵な日々を送ることができ、本当に幸せでした。派遣生たちが、この体験をきっかけにさらに大きく成長することを願います。このような機会を与えて下さった全ての皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。



Thank you, CSAS! Thank you, Chattanooga!

(一財)遠野市教育文化振興財団 職員 伊香 学

遠野市職員としての18か月の派遣任期を終え帰国してから約2か月後、今度は引率者という立場でまたチャタヌーガ市を訪れる機会をいただけたことを本当にありがたく思います。その経験や任期中に作ったネットワークを生かして、今回の派遣生には、より安全で充実した研修を提供したいという気持ちで引率に臨みました。

校外研修で訪れたチャタヌーガ市役所では、アンディー・バーク市長から派遣生へ温かい歓迎のスピーチをいただきました。両市が姉妹都市になったことで、より市と市の絆が深まってきていることを感じます。また、2019年に遠野を訪れ、国際教育の重要性などについて講演をした、テネシー大学チャタヌーガ校国際教育室の鈴木丈夫室長のご協力により、昨年に引き続き今年も同室のプログラムの受講を調整することができました。海外の市役所、大学を見学し、そこで活躍する方々との出会いは、中学生にとって将来の進路を思い描く良い刺激になったことと思います。

さて、今年もCSAS校では、ジム・ボールド校長先生をはじめ、高等部のジェイニー・フォセット先生、中等部のエイミー・フリーマン先生、低学年のエミリー・クラウド先生がチームを組んで、遠野市の派遣生のために様々な授業への参加と交流の機会を準備してくださっていました。各クラスでは先生方もCSAS校の生徒も、遠野について興味関心を示してくださり、とても良い交流ができたと感じます。また、廊下のいたるところに生徒手作りの歓迎のメッセージやポスターが貼られていてとても感激しました。各個人の好みに関する事前アンケートを基に、それらに関する絵を入れてくれていたり、一生懸命に翻訳したと思われる可愛い日本語を書いてくれたり、学校総出でおもてなししてくださっている気持ちが伝わってきました。

初めてCSAS校を訪問したのは2016年の1月で、今年で5回目となります。歴代のホストファミリーや校内での交流の際に知り合った生徒などに会うたびに、この数年で彼ら彼女らも大きく成長していることにとっても驚かされます。校内の活気ある雰囲気はいつも変わらず、同校がチャタヌーガ市内でも有数の人気校であることにも納得です。

今年の初夏にはまたCSAS校の生徒が遠野を訪問予定とのこと。今からとても楽しみです。この相互交流がこれからも未永く続いていくことを願います。

最後に、私のホストファミリーでありいつも愛情を持ってこの交流を支えてくださっている遠野市名誉親善大使であるルイーザ・メシッチ先生とご家族、CSAS校の皆さん、ホストファミリーの皆さん、「楽しいっ!」と言いながら遠野代表として元気よく積極的に交流してくれた派遣生の皆さん、引率の白沢先生、関係者の皆さまに感謝いたします。



私の好きな「キノコ」が描かれた
歓迎メッセージ



ホストファミリーのメシッチ夫妻
(左)ラリーさん (右)ルイーザ先生



令和元年度 中学生海外派遣交流事業 報告書

We love Chattanooga ♡

主催:遠野市姉妹都市等交流事業実行委員会
事務局:一般財団法人遠野市教育文化振興財団
〒028-0524 遠野市新町1番10号
電話:62-6191 FAX:62-6195

HP:<http://tono-ecf.or.jp>
FB:<https://www.facebook.com/tono.e.c.f>

滞在の様子は財団の
フェイスブックページに
も掲載しています。
財団FBのQRコード➡

